牛の放牧を活用した堤防除草

国土交通省

地域と連携した取組事例

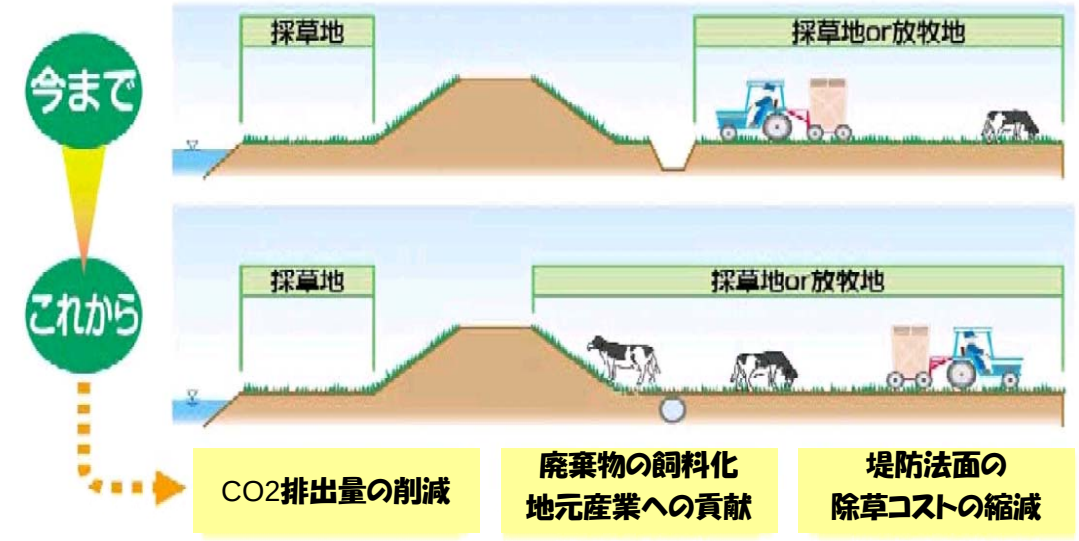
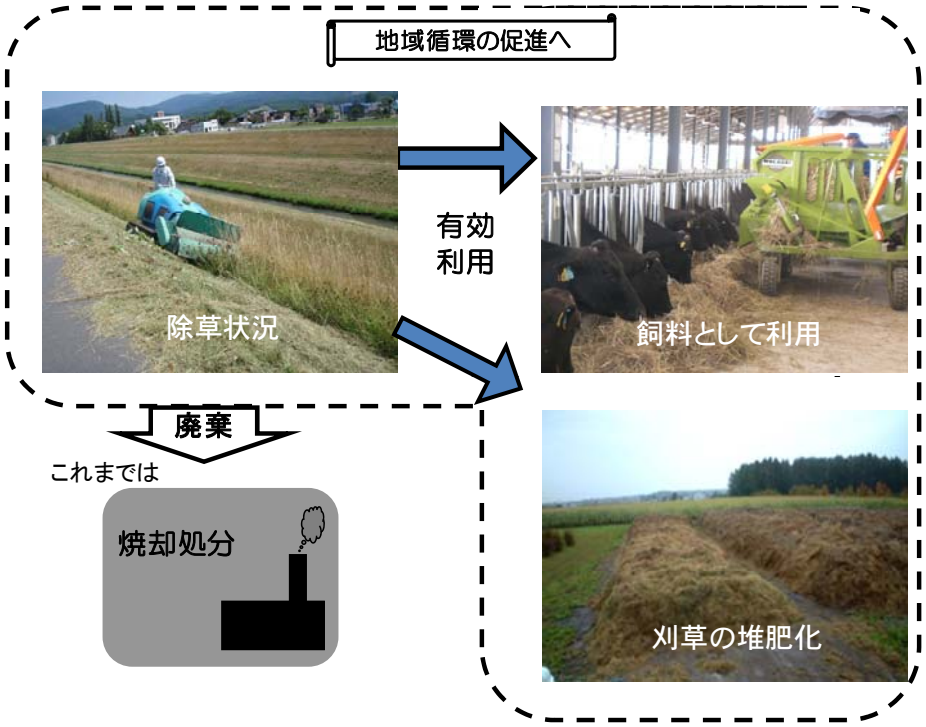
＜牛の放牧を活用した堤防除草＞

◎これまで除草機械を使って行ってきた河川堤防の除草を、平成20年度から初めて牛の放牧を活用して行うこととしました。
牛の放牧による堤防除草については、平成17年度から試験施工を実施し、堤防管理上問題がないことが確認できたため、豊頃町農協との連携により、十勝川ウツナイ築堤（３５千㎡）において全道で初めて実施しています。

◎また、全道の河川堤防の除草により発生する刈草については、情報を広く提供する「刈草バンク」を構築し、自治体・農協・農家等へ無償提供し、地域内有効利用を図るとともに、コスト縮減に努めています。
この結果、平成25年度以降は刈草の100%利用が図られました。
今後も地域との連携を強化しつつ、資源の有効利用に努めていきます。

○牛の放牧による河川堤防の除草（十勝川ｳﾂﾅｲ築堤）

丘陵堤法面有効利用イメージ



○刈草バンクによる地域内有効利用